

シラバス

授業のタイトル(科目名) 精神保健福祉援助演習Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)		授業担当者 平川 泰士	
授業の回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 4学年1学期		必修・選択 選択	
【授業の目的・ねらい・到達目標】 ・精神保健福祉を必要とするものの状況や困難について把握し、ソーシャルワークの展開を行うことができる。 ・関係諸機関・専門職の役割を理解し、チームアプローチ、チーム運営を行えるようになる。 ・諸制度・サービスとその利用について理解し、援助に活用できる。 ・具体的な場面に対して、精神保健福祉士の基本的原理に基づき実践的に考察できるようになる。 ・精神保健福祉に課題のある人々の社会的排除を除去し、共生社会を実現する精神保健福祉士としての役割を果たす専門職としてのアイデンティティを確立する。					
【授業計画】 1 事例記録・作成法 2 個別支援記録・業務記録の作成 3 スーパービジョンのための記録作成 4 自己の援助関係構築における課題の発見・分析 5 自己の援助関係構築における理解と自己覚知 6 自己の援助関係構築における課題に対する対処法 7 障害福祉サービス(相談支援等)における包括的援助の実践的習得 8 就労支援における包括的援助の実践的習得 9 地域移行・地域定着、地域生活支援における包括的援助の実践的習得 10 デイケアにおける包括的援助の実践的習得 11 通院、訪問看護における包括的援助の実践的習得 12 入院、退院支援における包括的援助の実践的習得 13 司法機関における包括的援助の実践的習得 14 産業・労働における包括的援助の実践的習得 15 ひきこもり等における包括的援助の実践的習得					
【使用テキスト・参考文献】 別途指定			【単位認定の方法及び基準】 事例・ロールプレイ・課題作成による評価(50%)、演習に取り組む姿勢・成熟度による評価(50%)を総合して評価する。		